

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教 科： 公民 科 目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1～5 組： ）

使用教科書：（ 高等学校 公共 これからの社会について考える ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、主権者として活動するために必要となる情報を適切に獲得する技能を身につけるようにする

【思考力、判断力、表現力等】現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としてのあり方生き方についての自覚や、公共的な空間に行き国民主権を担う公民として、世界の平和と繁栄を図ることや各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び政治、経済などにかかわる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実をもとに概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	市民社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】 青年期の心理、先哲の思想、現代社会の伝統や文化、宗教などの背景や多様性について理解できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における人間としてのあり方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 選択・判断の手掛かりとなる考え方をを使って、現代の諸課題を主体的に追及できるようにする。	・大人ってどんな人？ ・お互いを理解し尊重するために ・誰もが生きやすい社会へ	【知識・技能】 ・青年期の重要性、現代の社会と伝統や文化、宗教などのつながり、古代から近代の日本の思想家の思想内容が理解できている。 【思考・判断・表現】 ・自己形成の課題、先哲の思想や伝統、文化、宗教の自身への影響、自分と異なる価値観や他者の思いを受け入れる必要性を考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体であるという自覚した行動をとることができている。	○	○	○	3
	単元 公共空間における人間としてのあり方生き方 【知識及び技能】 近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容、地球環境問題や資源・エネルギー問題などの現代の様々な課題について理解できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における人間としてのあり方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 選択・判断の手掛かりとなる考え方をを使って、現代の諸課題を主体的に追及できるようにする。	西洋近現代の思想 ・科学的・合理的な考え方 ・民主社会の倫理 ・他者とともに生きる 現代の諸課題と倫理 ・地球環境をめぐる問題 ・資源・エネルギーをめぐる問題 ・生命をめぐる問題	【知識・技能】 近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容、・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・先哲の思想や生き方から、公共的な空間における人間としてのあり方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につけようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	単元 公共的な空間における基本原理 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 そのような基本的原理を考察することによって、個人と社会とのかかわりを多面的・多角的に考察することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 民主政治が自らの生活と関わっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を踏まえらるるようにする。	民主社会の基本原理 ・民主政治と基本的人権 ・権力分立と法の支配 ・個人と社会とのかかわり 日本社会の基本原理 ・日本国憲法と基本原理 ・平等権、自由権 ・社会権、参政権 ・人権の広がり	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解できている。 【思考・判断・表現】 そのような基本的原理を考察することによって、個人と社会とのかかわりを多面的・多角的に考察することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 民主政治が自らの生活と関わっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を踏まえらるる。」	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

	単元 ルールを作り守る私たち【知識及び技能】 法や規範の意義や役割が理解できるようにする。 公正な裁判には司法権の独立画筆であり、国民の参加が大切であることが理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な契約の例をあげられるようにする。 裁判によって国民の権利が守られていることを考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 司法に関心を持ち、紛争を解決するための方法を主体的に考察することができるようにする。	法と契約 ・法と規範の意義 ・経済社会のルール ・契約と消費者の権利 司法参加の意義 ・司法権と日本の裁判制度 ・司法参加の意義	【知識及び技能】 法や規範の意義や役割が理解できるようにする。 公正な裁判には司法権の独立画筆であり、国民の参加が大切であることが理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な契約の例をあげられるようにする。 裁判によって国民の権利が守られていることを考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 司法に関心を持ち、紛争を解決するための方法を主体的に考察することができるようにする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	単元 政治に参加する私たち【知識及び技能】 地方自治や選挙の仕組み、政党の役割について理し考察することで民主政治を支えている制度を理解できるようにする。 国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できるようにする。 国際社会における国際法の意義や国際連合の役割と意義が理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 そうした原理に基づく実際の社会のあり方について考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 日々の報道を通じて国際社会の状況とそれにかかわる日本の安全保障のあり方などについて関心をもって主体的に日本と世界のあり方を考察できるようにする。	政治参加と民主政治の課題 ・選挙の役割と意義 ・政党の役割 ・地方自治の現状と課題 ・世論の形態と政治参加 国際政治の動向 ・国際社会と国際法 ・戦後の国際情勢 ・現代の紛争 国際政治の課題と日本の役割 ・日本の安全保障 ・日本の防衛体制 ・軍縮の動き ・国際連合の組織と課題 世界の人権問題と日本	【知識及び技能】 地方自治や選挙の仕組み、政党の役割について理し考察することで民主政治を支えている制度を理解できる。 国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できる。 国際社会における国際法の意義や国際連合の役割と意義が理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 そうした原理に基づく実際の社会のあり方について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 日々の報道を通じて国際社会の状況とそれにかかわる日本の安全保障のあり方などについて関心をもって主体的に日本と世界のあり方を考察できる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学期	単元 経済活動を行う私たち【知識及び技能】 現代の企業の役割、産業構造の変化、市場経済や金融・財政のしくみ、国際貿易の意義や戦後の国際経済の流れについて理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 企業の倫理、経済のサービス化の影響、GDPと豊かさについて考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 先端技術が発展するなかでの自分の進路や職業選択、経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について考えることができてい	経済の仕組みと産業の変化 ・経済生活の仕組み ・企業の動きと役割 ・日本を支える中小企業と農業 ・産業構造の変化と職業 ・労働者の権利 ・現代の労働問題 市場経済のしくみと金融 ・市場経済のしくみと物価 ・金融の役割と金融政策 財政と社会保障 ・財政と租税の役割 ・公害対策と環境保全 ・少子高齢化社会における社会保障 国際経済の動向と課題 ・国際経済のしくみ 戦後の国際経済体制 ・グローバル化と現代の国際経済 ・地域経済統合 ・南北問題とその課題	【知識及び技能】 企業の役割、中小企業や農業の現状、産業構造の変化、市場経済のメカニズム、金融・財政のしくみ、国際経済の流れが理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の企業倫理、経済のサービス化が進展、価格の変動のしくみ、GDPと豊かさ、租税と社会保障のバランス、経済のグローバル化と各国の相互依存関係について考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】 変化する社会における進路や職業選択、経済社会に主体的に生きる一員としての自覚、合理的な消費行動、日常生活と国際経済のつながりを自覚できている。 ・格差のある国際社会で、その克服のために自らがどのようなことができるか考え、実行しようという意欲を持つことができている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計
							59